

地域猫活動及び犬猫の譲渡に関する取組について

【調査の目的】

県では、飼い主のいない猫の過剰繁殖による生活環境被害の軽減及び所有者不明の猫の引取数を減らすことを目的として、平成26年度から地域猫活動支援事業を実施し、地域住民が主体となって市町村が実施する地域猫活動を支援しています。

また、県が引取りした犬猫の新しい飼い主を探すため、動物愛護センターで動物愛護団体と連携して譲渡促進の取組を実施することにより、致死処分数を削減し、人と動物が共生する社会づくりを推進しています。

このため、地域猫活動及び犬猫の譲渡に関する取組について皆さまの御意見をお聴かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。

(保健医療介護部生活衛生課)

※ 地域猫活動とは

地域における、飼い主のいない猫の過剰繁殖やトラブルの防止のために、地域の合意のもとに複数の地域住民が主体となり、不妊去勢手術の実施や餌・トイレの管理などを行い、猫を適切に管理する活動です。

本活動により管理されている猫を地域猫とします。

一世代限りの飼養や新しい飼い主探しにより、将来的には地域から飼い主のいない猫がいなくなることを目指します。

【現在県が行っている支援】

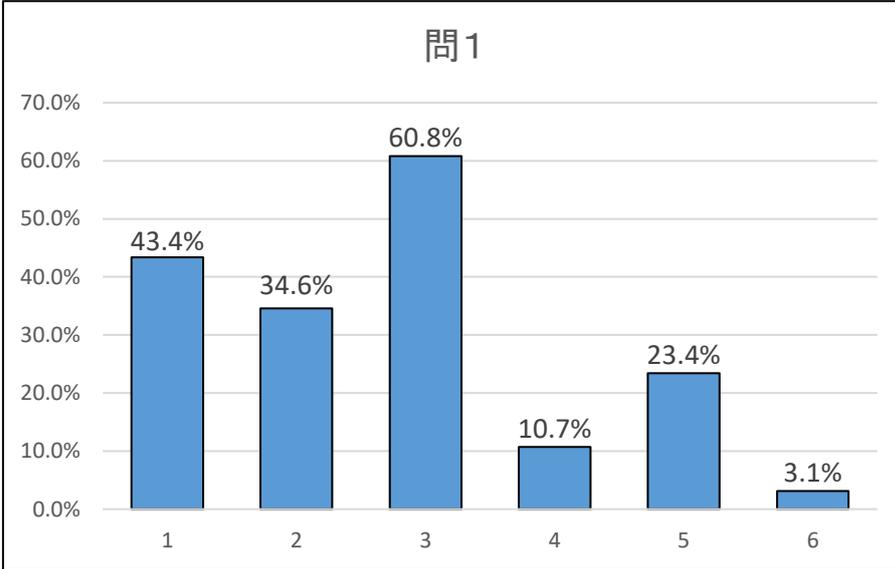
- ・地域猫活動に対する技術的な助言
- ・市町村への不妊去勢手術費用の補助

問1 あなたは、屋外にいる猫による生活環境被害を軽減するためにどのような対策が必要だと思えますか。

(n=355 選択は2つまで)

選択肢	回答数	割合
1 飼い猫は屋内で飼育し、屋外に出さない	154	43.4%
2 飼い猫に迷子札を装着するなど所有者を明示し、餌やトイレ管理など適正な飼養管理を行う	123	34.6%
3 飼い主あるいは餌を与えている方が不妊去勢手術、餌の後片付けやトイレ管理などマナーを守ってお世話する	216	60.8%
4 追い払う、柵や塀の上に障害物を設置して敷地内への侵入を防ぐなど、自分でできる対策をとる	38	10.7%

5 飼い主のいない猫に対しては、地域住民の間でコミュニケーションをとり、地域猫活動を実施する	83	23.4%
6 その他	11	3.1%



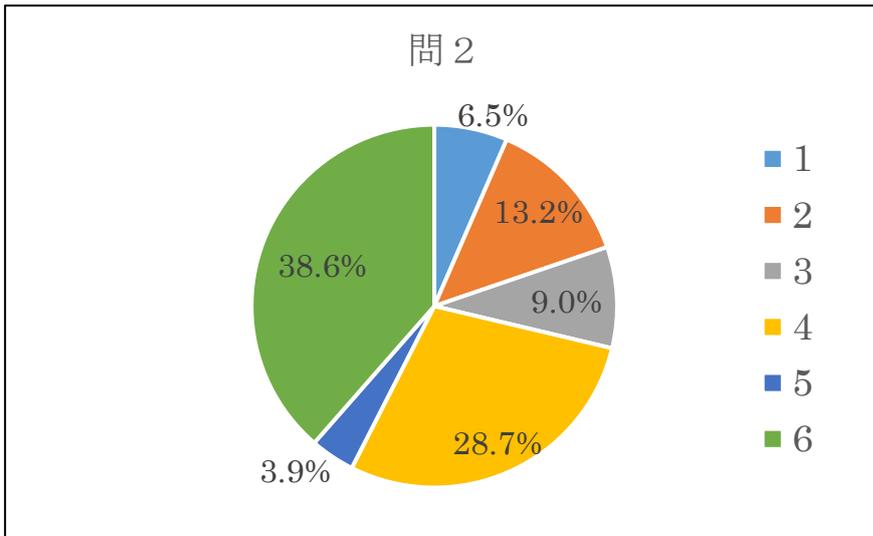
[その他] (カッコ書きは類似回答数)

- ・ 飼い主のいない猫は、行政などの手で集め、引き取り手のない猫は殺処分すべき（3）。
- ・ 無意味に餌付けしている人に警告や罰則を設け、条例を作るべき。
- ・ 猫の餌代に課税してその対策費に回す。

問2 あなたは、「地域猫活動」について知っていましたか。また、県が「地域猫活動」の支援事業を行っていることを知っていましたか。

(n=355 選択は1つのみ)

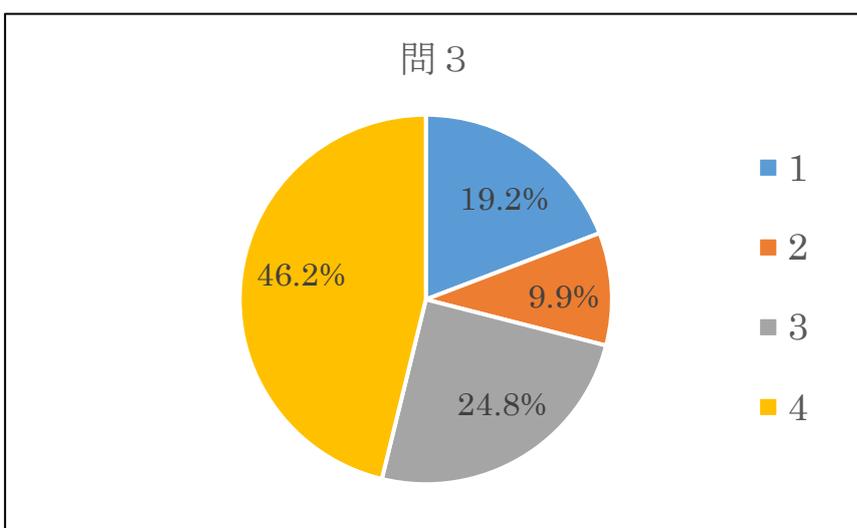
選択肢	回答数	割合
1 地域猫活動を行っており、県の支援事業も知っていた	23	6.5%
2 地域猫活動は行っているが、県の支援事業は知らなかった	47	13.2%
3 地域猫活動を知っており、県の支援事業も知っていた	32	9.0%
4 地域猫活動は知っていたが、県の支援事業は知らなかった	102	28.7%
5 地域猫活動のことは知らなかったが、県の支援事業について聞いたことはあった	14	3.9%
6 どちらも知らなかった	137	38.6%



問3 あなたは、福岡県動物愛護センター（古賀市）を知っていましたか。また、当センターにおいて、県が引き取りした犬猫の新しい飼い主を探していること（譲渡事業）を知っていましたか。

（n=355 選択は1つのみ）

選択肢	回答数	割合
1 施設名を知っており、譲渡事業も知っていた	68	19.2%
2 施設名を聞いたことはあるが、譲渡事業は知らなかった	35	9.9%
3 譲渡事業は知っていたが、実施している施設は知らなかった	88	24.8%
4 施設名も譲渡事業も知らなかった	164	46.2%

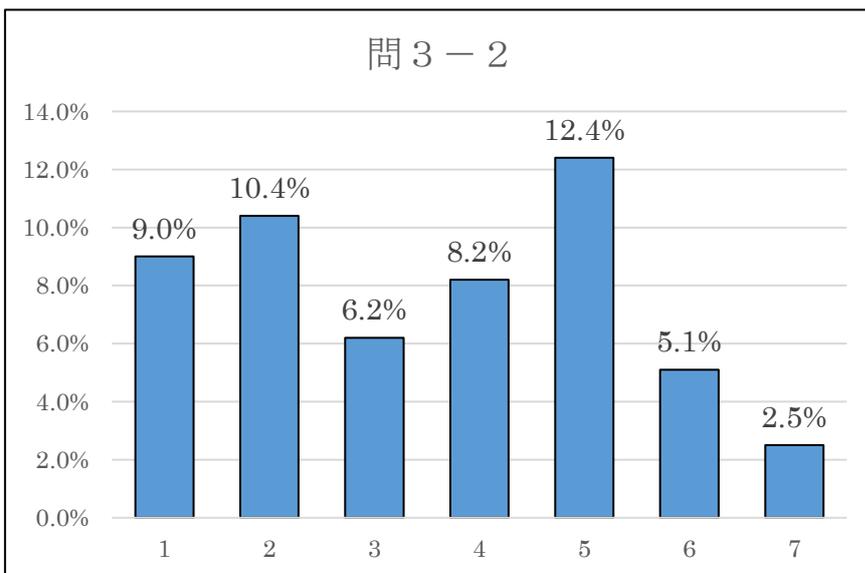


問3-2 （問3で「1」を選んだ方にお尋ねします。）

福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡について、次のことを知っていますか。

(n=355 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 譲渡する犬猫は、原則として不妊去勢手術が済んでいる	32	9.0%
2 譲渡する犬猫は、原則として感染症を防ぐための混合ワクチンが接種されている	37	10.4%
3 譲渡する犬猫は、原則としてマイクロチップが挿入されている	22	6.2%
4 犬の譲渡を希望する場合は、事前に講習会を受講する必要がある	29	8.2%
5 犬猫を譲り受けるためには、家族の同意など一定の条件を満たす必要がある	44	12.4%
6 譲渡事業以外にも、譲渡した犬の同窓会、犬のしつけ方教室のほか猫の飼い方教室などを実施している	18	5.1%
7 いずれも知らない	9	2.5%

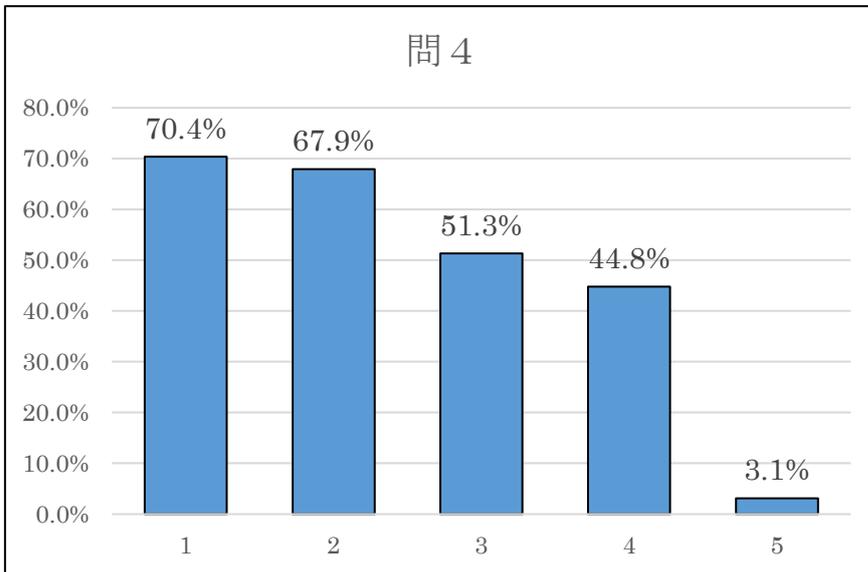


問4 あなたは、福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(n=355 選択は複数)

選択肢	回答数	割合
1 ホームページやSNSを活用し、動物愛護センター事業の広報を強化する	250	70.4%
2 犬猫を譲り受けるための条件を分かりやすく、ホームページ等に掲載する	241	67.9%
3 新しい飼い主を募集している犬猫の性格や特徴を詳細に説明する	182	51.3%

4 県内各地に出張し、譲渡会を実施する	159	44.8%
5 その他	11	3.1%



[その他]

・市政だよりでは余り見かけないので、今までうっすらとしか理解出来ていなかったです。市政だよりも記載して貰った方がより分かりやすいのでは。

・譲渡した犬猫を大事にしない里親がいると聞いたことがあります(意図的に傷つける目的で引き取るもふくめ)譲渡して終わりではなく、その後も見守り等の支援があった方がいいと思います

・義務教育で周知する

・エサ代やワクチン接種費用の補助

・テレビに特集してもらう

・犬や猫が好きだけど飼えない環境の人(自分もそうです)も賛同できる活動なので募金やクラファンなどの協力できることがあるなら協力したいです。

・動物愛護センターが本腰を入れて保護活動を行うことを切に願う。

・福岡県動物愛護センターにおける犬猫の譲渡を進める必要はない必要な人はインターネットで探すと思う

・広報活動にそれほど効果があるとは思えない。無駄に税金を使うべきではない。

問5 地域猫活動及び犬猫の譲渡に関する取組について、これまでの設問以外に意見はありますか。ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

[ご意見(別添参照)](回答数=133)

性別	年代	地区	意見
男性	30～39歳	北九州	地域猫活動には正直反対です。我が家の住宅街には野良猫が多く、早朝や夜間に喧嘩の声でうるさいばかりでなく、花壇を勝手に荒らされたり庭に糞をよくされるので大変迷惑しています。「地域猫」と聞こえはいいですが、実態は所有者の責任があいまいのまま育てているだけで、餌をあげている人は実際に被害を受けている家庭の気持ちを分かっているのではないのでしょうか？
男性	60～69歳	北九州	高齢者が地域猫に餌付けをしている光景をよく目にする。何とも言えない気持ちになる。
男性	20～29歳	北九州	譲渡会を行うのはいいが大勢の前や屋外で見世物のように扱うのはどうかと思う。宣伝にはなるかもしれないが私のペットがそのような扱いを受けていると思うと嫌になるからやめてほしい。屋内でかつ、大勢の前ではパネルや映像での展示をして実際に見たい人だけに見せるようにするとか。
女性	40～49歳	北九州	実家も愛猫家でしたが、知人や公園の猫を引き取って飼っていましたので、これからはもっと地域猫活動及び犬猫の譲渡を幅広くこのアンケートのお陰で理解出来たので又目を向けたいです。
男性	50～59歳	北九州	この取り組み自体をもっと広めていかなければならない。あらゆる媒体を使って広めていく。SNSや各年代に合った広め方を考える必要がある。
男性	60～69歳	北九州	北九州市の動物愛護センター(小倉北区西港)へは行った事があります。似たような活動状況でしょうか？
男性	70歳以上	北九州	<p>■「お試し同居」体験プログラム 2週間～1ヶ月の期間限定で犬猫と暮らせる制度。飼うか迷っている人でも生活相性を確認でき、返却後も別の動物とマッチングできるため、双方のストレス軽減にもつながるのではないのでしょうか。</p> <p>■AI性格マッチング診断 希望する暮らし方(散歩頻度・家族構成・活動量・騒音許容度など)を入力すると、性格や行動傾向に近い犬猫をAIが提案。婚活アプリのように「相性」を見える化し、ミスマッチ譲渡を削減できるように思います。</p> <p>■「譲渡型シェルター×カフェ×学び場」複合施設 保護動物と触れあえるカフェに、飼育知識のワークショップや子ども向け命の教育プログラムを併設。地域住民・学校・企業が関わり、譲渡だけでなく啓発とコミュニティ形成の場として機能するのではないのでしょうか。</p>
男性	40～49歳	北九州	ペットショップは大盛況なので、県報・市報などで譲渡会の案内を定期的にあげたら良いのでは？
男性	50～59歳	北九州	現在、ペットを飼育している方、これからペットを飼育しようとしている方には最後まで責任を持ってペットを飼育して欲しい。そのため県にもそのような広報活動を行って欲しい。ペットを飼育する場合、適切な個体管理を行うよう指導、広報して欲しい。
女性	40～49歳	北九州	少子化や核家族化の影響により動物を飼う人が増えているように思います。それに関してはとても嬉しいことではあります。ペットショップなどでは高額で命を取引し、一方では捨てられ消えてゆく命があります。高価だったから大切にするという考えも一部あるかもしれませんが、保護犬や保護猫達の命をそういった方々に救って欲しいというのが本音です。どうすれば良いのか。極論ですが、動物の命の取り引きを法的に禁止していただきたいです。この犬種がかわいいとか、この猫種が好きだとか、もちろんあると思います。それでも、命の高額取引ではなく、かわいそうな命を救って欲しいのです。難しい問題ですが、少しでも命が大切にされるように願っています。また、地域猫などに対する動物虐待の罰則も厳しくして頂きたいです。
男性	70歳以上	北九州	小倉駅前、歩道橋の広場で譲渡会を時折開催しているのは良いと思う。
男性	60～69歳	北九州	ペットの飼育禁止のマンション(賃貸を含めて)が多いのを何とかしてほしい。高齢になり子供たちも独立し、年配の夫婦だけの暮らしになった時、ペットがいるといえないのでは生活上も精神的にもかなり違ってくると思います。もちろんアレルギーや動物嫌いの人もいるのだからお互いが納得する形のルール作りをきちんとしたうえでであることは当然です。ペットを飼う人は「ペット」ではなく「家族」として生活している人が大多数で、そういう思いを持つことで無責任な飼育が減っていくはず。そのためにもペットを飼うことのできる環境を少しでも多くする対策をとってほしいと思っています。現在はマンション形式の住環境が多くなってきています。そんな中で「ペット禁止」とする規約は時代遅れではないのでしょうか。根拠もわかりません。マンションでのペット禁止の見直しについて県や市がもっと働きかけるべきだと思います。
女性	30～39歳	北九州	地域猫活動については自治会でも議題にあがったばかりでした。地域猫活動をしたいという人もいますが、ほとんどは反対派でありうちの自治会においては行われておりません。なお、単純に猫を嫌っているのではなく、住みよい街をつくるにあたって地域猫活動をする事によるデメリットが大きいことと、そのデメリットを解決するような策がうちの自治会では打ち出せないということが主な理由です。特に解決策がないものとして、地域猫活動をしていると聞きつけて、無責任に捨て猫を連れてくることや、地域猫と認定されている猫が人や物を傷つけた場合の責任の所在についてなど、他にもありますがそのような事柄がたくさんあげられうちの自治会では地域猫活動は非現実的であるという結論に至りました。犬も猫も大切な命であることは変わりませんが、地域猫からの無責任な捨て猫からのさらなる繁殖となり、最終的に殺処分などの方向になるほうがよっぽどかなしい結末になるため、私個人としては地域猫すらも無くして、飼い猫・飼い犬のみに全国的にすべきかと思っています。
男性	40～49歳	北九州	外猫が庭に糞をするので、各家庭でしっかり、糞尿のしつけをしてほしい
男性	70歳以上	北九州	まだ結構屋外に野良猫がいるがどれが地域猫なのかそうでないのか区別がつかない 何か識別できるようにできないのでしょうか
女性	40～49歳	北九州	保護団体が多数ありますが、どの事業所さんも、金銭面でかなり苦労があると思います。市や県からの支援金や、保護猫、保護犬の譲渡までの健康チェック、ワクチン手術などのすべてを無料にするなどして頂きたい
男性	50～59歳	北九州	昭和の時代は増えすぎた犬猫は殺処分するために専門の職員がいたわけだし、それが時代とともに違う仕事になりつつあるわけだが、増えていった犬猫に対して必要以上の税金を投入する必要性というのは意識すべきだと思うし、設問が事業ありきとなり不誠実なアンケートだと感じた。
女性	60～69歳	北九州	介護用ペット事業を進めて、施設などに訪問してもらおうと良い

性別	年代	地区	意見
男性	60～69歳	北九州	私の住んでいる地域でも地域猫活動が行われているが、経済的支援が町から行われていないので、ボランティアで活動されていると聞いている。自治会がカンパのような形で支援活動を行っているが、県および自治体ももっと支援を行っていかないとボランティアの善意に頼ってはいは長続きはしないと思う。活動自体は大変意義のあるものだと思うので、長く続けていくためにも経済的(財政的)支援はきちんと予算化するべきだと思う。
女性	60～69歳	北九州	行橋市に戻って一年近くなるが、何度も花を植えたばかりの花壇を夜間に掘られ、糞を埋められていた。外で猫を見かけたが飼い主がわからず、対応できなかった。飼い猫の管理を厳重にして、夜間の徘徊を無くし、このような悲しい出来事が起きないようにしてほしい。
男性	70歳以上	北九州	犬や猫が大嫌いです。たくさんの方が猫や犬を昔に比べて飼い始めているように思います。世の中がずさんできており、相手をしてくれる猫・犬をかわいがりはじめたのでしょうか。犬に着物を着せて歩かせている人を良く見かけますが、人間と違い犬は発汗作用があり、それを着た着物が防いでいます。動物本来の性情を知らずに猫かわいがりしている人を見ると動物に同情したくなります。
女性	60～69歳	北九州	保護活動はよいことで継続してほしい
男性	40～49歳	北九州	譲渡が必要なのか?と思います。
女性	60～69歳	北九州	知り合いが、飼われてない猫や犬の避妊治療や餌やりを自腹でしてますが、補助金申請などできますか。
男性	60～69歳	北九州	一旦飼い始めたら、最期まで、責任を持って飼う、無責任な繁殖をさせない、ことを地域活動や学校で、再三周知する
女性	60～69歳	北九州	近くに大きな森があり、そこにたくさんの野良猫がいる。それに餌付けをしたり、面白半分てかわいがる人がいるため、野良猫が増えすぎて、困っている。何とかしてほしい。
女性	50～59歳	北九州	どちらも保護する必要がある限り、続けていかなければならないと思う。ネットでも随時、犬猫の特徴や譲渡希望の条件など情報を更新して、希望する方とのマッチングができるようにし、幅広く、柔軟に対応して大切な命が悲しい結末を迎えることのないようにこれからも積極的に取り組む必要があると思う。一方、飼うという時点で、条件などを見直し、最後まで責任ある行動をとれない場合は簡単にははいけないという厳しさも必要だと感じている。
女性	30～39歳	北九州	猫を飼っていない実家の庭や家庭菜園の畑に猫の糞被害が起きていて大変困っています。猫除けの対策をいろいろ試しているのですが、自費での費用がかさむ上に効果がみられずで、、、飼っていないのになんで糞の処理をしないといけないのかと嘆いています。効果のある猫除け対策についての情報や屋外猫が引きこす問題を伝える取り組みがあつたらと切に願います。
男性	30～39歳	福岡	地域猫として餌やりをしている家庭では、「癒し」「可愛い」という感情のもと猫との接触を楽しめますが、猫の糞尿は当然ながら餌場以外の場所に及びます。実際には、周辺住民が自腹で猫よけ剤や忌避剤を購入し、年間数万円から10万円近い対策費を強いられているケースもあります。 地域猫活動を「善意」として評価するのであれば、少なくとも被害を受けている側への公的支援や、餌やり家庭への責任の明確化が不可欠です。現状のように「好きでやっている者は得をし、関係のない者が黙って損をする」状態を放置するのは、極めて不公平であり、持続可能な地域共生とは言えません。明確なルール設計と補償制度が伴ってこそ、地域猫活動は社会的に受け入れられるものとなります。
男性	30～39歳	福岡	動物愛護の観点からすれば、地域猫活動は必要なことだろうとは思いますが、一方で動物が嫌いな人やアレルギーを持つ人たちの立場からすると、地域の人間が管理していると言っても飼い猫ではなく野良猫には違いないので迷惑な存在だと思います。基本的には犬や猫は飼い主が存在して、その家の範囲内で飼育されるべきだと思います。飼えない犬や猫の保護施設も必要だと思いますが、基本的には飼えない数以上の犬や猫の殺処分はやむを得ないと思います。犬や猫の飼育に関して、飼い主には高いレベルの管理意識を求めべきだと思います。
男性	60～69歳	福岡	身内で活動に参加する者がおり、良く認識しているが、みんなが猫好きではなく近所の住民で餌提供の犯人捜しですする人さえいた。活動の必要性を訴える場面がもっと必要だと思う。
男性	50～59歳	福岡	近所に猫を屋外で餌付けして去勢手術もせずに繁殖させている人がいる。大変迷惑しており大事な問題だと思う。
男性	50～59歳	福岡	天拝山公園で地域猫が放置され、訪問した子ども家族が平気で触っている…要注意だと思う
女性	50～59歳	福岡	六本松のそばに地域猫と地域住民たちがともうまく共生している公園があることを聞いている。県が助成していることは全く知らなかったが、そのような活動はとても良いことだと思う。
女性	30～39歳	福岡	譲渡のための研修等を回数多くしてはどうでしょうか。
男性	30～39歳	福岡	譲渡より野良にすることに罰則を定めるなどして、野良を減らす方にもっと力を入れてほしい
女性	50～59歳	福岡	これまで犬や猫を飼った経験がなく、特に犬は怖くて近寄るのも苦手なので、あまり思い付くものもない。
女性	50～59歳	福岡	私も犬を飼っているので、飼い主の身勝手な行動からかわいそうな思いをする動物をなくしたい!と強く思います。譲渡に関してはとても厳しい審査があると聞きましたが絶対に緩めず厳しくしてほしいと思います。引き取ったからの継続調査も必須にしてほしいです。また、プリーダーさんや多頭飼育をしている方への定期的な報告も義務化してほしいと思います。
男性	70歳以上	福岡	犬、猫を欲しが人も多数います。もっとPRが必要では
女性	40～49歳	福岡	地域猫と呼び名をかえて野良猫がウロウロしているのは不衛生と感じる
女性	30～39歳	福岡	以前、猫を飼っていたことがあるので、色々熟知しています。猫は病気で世界しましたが、またいつかは、猫を飼いたいと思います。
男性	40～49歳	福岡	野良を減らせれば致死処分も当然減りますので「動物愛護センターへの見学」を学校の行事で入れるのはどうでしょうか?犬猫を飼える条件が整っている家庭の子には、必ずではないですが積極的に飼ってもらえるよう働きかけるのと同時に、命の大切さ、命を預かった責任などの道徳教育も並行して行えると思います。
男性	40～49歳	福岡	このような取り組みはPRが全てだと感じている。

性別	年代	地区	意見
女性	30～39歳	福岡	譲渡会の実情は知らないが、譲りたくても譲れなくて困っている家庭はないのかなと思った。
女性	30～39歳	福岡	殺処分を0にすることはとても重要だと思っています。命の大切さを考えるためにも譲渡会のCMなどを県が積極的に行うことはできないでしょうか？
女性	50～59歳	福岡	地域猫の来る喫茶店に行き、癒されています。常連が餌を持ち寄っています。
女性	40～49歳	福岡	地域猫活動にも限界はあると思うので、一匹でも多くの犬猫が譲渡会などで安心して暮らせる飼い主に出会えるといいと思う。犬猫を連れて各地を回るのは人も犬猫も負担なので、希望者が現地に何度も行かなくても候補の犬猫を決められるようインターネット等を活用して(写真だけでなく動画など)広く案内ができるとういと思う。
女性	60～69歳	福岡	このようなことこそ、snsを使って悲しい運命になる子がいなくなれば良いと思う。
女性	40～49歳	福岡	もっと地域猫活動や犬猫の譲渡に関する取り組みが身近になるといいなと思いました。
女性	70歳以上	福岡	とにかく動物を殺生しないで済むようにしてほしい
男性	40～49歳	福岡	うちの地域では外で猫を見ることがほとんどなく、正直「地域猫活動」という言葉も最近知りました。地域によって屋外の猫の数に差があると思うので、まずは「地域ごとの現状調査」を行い、課題がある地域とそうでない地域の実態を「見える化」することが大切だと思います。猫が少ない地域では、今後トラブルが起きないように「未発地域での予防啓発」を進めることも必要だと思います。 また、福岡県動物愛護センターについても、これまで名前も事業内容も知りませんでした。県の広報誌や自治体のLINE、保育園・小学校のおたよりなど、「生活に近い情報発信の場」で紹介してもらえると、より多くの人に知ってもらえると思います。特に、譲渡される犬猫の「性格」「これまでの経緯」などをSNSで丁寧に伝えると、共感を呼びやすいのではないのでしょうか。 さらに、県内各地で「出張型の譲渡会」を開催したり、地域イベントと連携して紹介コーナーを設けたりすると、気軽に動物と触れ合える機会が増えてよいと思います。子どもたちにも「命を預かる」という体験の入り口になるはずです。 全体としては、「猫や犬の問題」は一部の人だけのものではなく、地域の理解と協力があってこそ成り立つことなので、県がそれぞれの地域の状況に寄り添いながら、柔軟な支援を続けてほしいです。
男性	60～69歳	福岡	諸事情で犬猫を飼えなくなった飼い主が犬猫を捨てる前に相談できる窓口があると良い。もし、既にあるならば、広く周知して欲しい。また、災害や迷子など特別な事情を除けば、野良犬／野良猫の主な原因は飼い主の覚悟と責任の欠如なので、犬猫をペットショップで購入したり、譲渡会などを通じて譲渡してもらう際に、自治体への登録を義務付ける制度があっても良いと思う。
男性	70歳以上	福岡	当方、マンション住まいのためなかなか動物の飼育が難しいのですが、TV等で保護猫や保護犬の番組を診て関心はあります。
女性	70歳以上	福岡	福岡県動物愛護センターが周知されていない
男性	70歳以上	福岡	犬、猫の取組の前に、テーマ3 ワンヘルスとともに、県住民の生活向上に力を注いで頂きたいと思います。
女性	50～59歳	福岡	繁殖を抑えつつ命を守る現実的で最も効果的な共存策。感情でも放置でもなく地域全体で責任を分かち合う仕組みとして優れていると思います。
男性	50～59歳	福岡	私が住む福岡市早良区でも、だいぶ野良犬・猫を目にするのは少なくなりました。町内の区画再整備によって建物が高層化すると、それまで徘徊していた猫の数も少なくなってきたと感じます。地域猫活動の変遷を知りたいと思うことが時折あるので、県日よりなどで取り上げてもらえると嬉しいです。
女性	60～69歳	福岡	一度人間に飼育され手放された犬や猫は人間に裏切られているから、里親の条件は厳しくすべきだと思う。経済的なことや留守番時間が長くないなど動物の幸せも考えが浸透すべきだと思う
男性	50～59歳	福岡	近年は、昔に比べてご近所付き合いが少なくなり、また動物の飼育においても、飼い主のマナー低下により糞の放置などでお困りの方が多いと伺っております。 可愛いという気持ちだけではなく、飼い主一人ひとりの意識が変わらなければ、こうした問題の解決は難しいと感じます。 以前、マイクロチップを埋め込み、飼い主を特定できる仕組みを拝見しましたが、その後の取り組み状況は分かりません。費用面などの課題もあるかと思いますが、「命の重み」という点も含め、今一度ご検討いただければ幸いです。
女性	60～69歳	福岡	いわゆる野良猫は人間の身勝手から生まれる。 飼い主のいない猫を増やさないための活動はもちろん、エサやり活動も 堂々で行えるように 活動する人たちをもっと援助してほしい。
男性	60～69歳	福岡	地域猫活動及び犬猫の譲渡に関する関係者の取り組みにより最近街中で野良猫を見かける機会がかなり減ったと思う。地道な努力が徐々に効果となって出ている様に感じます。
女性	70歳以上	福岡	高齢者と子どもでふれあいを兼ねた保護活動を展開していく。
女性	20～29歳	福岡	ペットショップなどでも普及活動を行って良いのではないかと思います。
男性	70歳以上	福岡	基本は飼い主の責任にあると思います
女性	20～29歳	福岡	保護犬を迎えたいと思っていたけど、どこのサイトが保護施設のサイトなのかわかりにくかった。保護施設主催イベントかと思って行ったら、安売りする業者だったりした。
男性	30～39歳	福岡	昔に比べたら随分野良犬や野良猫が少なくなって、民間の団体やボランティアによる譲渡会が開かれているのをよく見かけるので良いと思います。 知り合いが保護犬を引き取る活動をしているのですが、土地を探すのに苦労したり、金銭的体力的に大変だと聞いてます。 私も犬や猫を拾って里親を探したりしたこともあります。ケージを揃えたりシャンプーをさせたり、結構お金が掛かるものです。 苦労は少しは分かるので、できればそういった活動をしている団体へのサポートを手厚くしてもらいたいです。

性別	年代	地区	意見
男性	30～39歳	福岡	譲渡も同様に動物を購入する際は犬や猫等に登録制度を導入することが大変大事だと思います。登録することで飼育の責任が生まれやすくなり、買えなくなった場合は動物病院や動物愛護センターなどの関係機関を通すことで次の譲渡先を探すなど、責任を持つ制度を導入してほしい。
男性	60～69歳	福岡	福岡県下に野生の猫がいるとは考えにくいので、いずれかのタイミングで飼い主が捨てたことが想像されます。そういう観点からすれば地域猫を同するよりも地域猫を作らないための制度作りが重要と考えます。設問1の選択肢2にあるように飼い主を明確化し責任の所有をはっきりすることがいいのではないかと思います。銃刀法とまでは言いませんが、それに近い形で、どのご家庭がどういったペット(猫、犬に限らず)を飼っているかを行政として把握する手段を構築してほしいです。
男性	30～39歳	福岡	まさにいま猫被害に困っています。正直、猫のための地域活動に時間を取られたくない。住民主体ではなく、県や市町村で対策部局を設置し、主体となって対策してほしい。
女性	50～59歳	福岡	県内各自治体などで地域住人の動物愛護センターの見学会を実施する。保護動物に興味を持たれた方は再度家族で見学などされ、譲渡出来る場合も出てくるのではないかな。
男性	40～49歳	福岡	犬猫を簡単に捨てる人間に罰則規定を。
女性	30～39歳	福岡	動物は言葉と話さない。 人間や飼い主の存在が全てである。 おもちゃやアクセサリではない。 安易な気持ちで飼育しないでほしい。 そして動物の命は、人間と同等に尊く、愛おしい存在だということを、徹底的に県民に周知させるべきだ。
男性	40～49歳	福岡	法整備を行なって、犬猫の管理を確実にできるようにする。
女性	50～59歳	福岡	譲渡猫を育てるさと納税の寄付等で熱心に支援している人が身近にいます。運営大変だと思いますが頑張ってください。
女性	70歳以上	福岡	飼い主は常に動物への責任があるという事を自覚してほしい
女性	60～69歳	福岡	図書館で譲渡会のポスターをたまたま見かけます。 興味がないわけではありませんが情報量が少ないと思います。 足を運んでみようとは思わないです。 譲渡会に参加して次どうなるか等やはり育てられないなどの情報をもっとあれば良い。
男性	40～49歳	福岡	昔、犬を飼ってましたが、非常にいい活動かなと思いました。 自身が小学生時代に学校でウサギを飼ってた記憶がありますが、学校でも犬猫を受け入れて教育の一環で動物に触れる機会が出来るなら、子供達の心身の発達に繋がるのかなと思いました。
男性	70歳以上	福岡	自分が住んでる地域の新聞販売店(読売花畑やよい坂販売所)が不定期に猫の譲渡会を開催している主旨が理解出来ました。
女性	60～69歳	福岡	熊本の温泉で、保護猫の写真付きで、里親を探しているのをみた。 なかなかいい方法だと、感心した記憶がある。 たくさんの人が見てくれるいい方法だと思う。
女性	50～59歳	福岡	今後は、譲渡後のフォロー体制の充実に加え、高齢者が安心して飼えるような支援や、状況に応じた譲渡条件の柔軟化も進めていただけると嬉しいです。
女性	60～69歳	福岡	引き取りたくても住宅等の理由でできないこともこれからは考慮する必要があるかと
男性	50～59歳	福岡	あまり、知られてないのでもっとわかりやすく宣伝してもらいたいです。
男性	70歳以上	福岡	ペットには興味がないが、一部飼い主の無責任さや街中での排泄物放置などマナー違反に憤りを感じる。
女性	40～49歳	福岡	地域猫の活動がもっと広まると、トラブルや殺処分が減ると思います。 譲渡会の情報を、広報やSNSで分かりやすく案内してほしいです。 高齢者や一人暮らしでも飼える「一時預かり」制度があると良いと思います。
女性	20～29歳	福岡	刑務所などで保健所にある保護猫を飼うことで、囚人達の心の教育や情操教育に良い影響を与えるという取り組みが海外であるらしいです。殺処分を減らす&刑務所の環境や教育にも良い影響を与えるという、ダブルで良い施策だと思うので、ご検討いただきたいです。 保護犬と暮らすというのは広島や姫路の刑務所などで始まっていると聞きました。 猫にも人を癒す力があります。更正という観点からも検討の価値があると思います。
女性	40～49歳	福岡	古賀市ですが、野良猫は減った気がしています。たまたま見かけた猫が地域猫の場合もあり、活動の成果があるように思います。
女性	50～59歳	福岡	譲渡後のフォローアップの強化
女性	40～49歳	福岡	地域猫の活動には賛成しています。ただし、猫を近づかせないようにするために、庭に音の出るものを置いている家があり、通るたびに甲高い音が鳴りとても苦痛です。敷地内に置くのは理解できるが、他者への騒音問題にはならないのだろうか？朝から音を聞き、とても不快な思いをしています。排除する気持ちが強くあり、精神的に大丈夫かと感じています。
男性	50～59歳	福岡	譲渡して終わりではなく、その後、飼育に困った時の相談窓口の設置が必要。
男性	60～69歳	福岡	大切な命なので、殺処分は無くなくて欲しい。意義のある取り組みだと思う。

性別	年代	地区	意見
男性	60～69歳	福岡	地域猫活動は、地域の理解と協力があってこそ成り立つ取組なので、活動内容や効果を住民に分かりやすく伝える広報がさらに充実すると、参加や理解が広がりやすいと感じます。また、不妊去勢手術に関する補助や相談体制がもう一段手厚くなれば、地域の負担を減らし、活動の継続性にもつながると思います。 犬猫の譲渡については、譲渡会の開催頻度やオンラインでの情報発信を増やし、動物の性格・健康状態・飼育のポイントを丁寧に示すことで、新しい飼い主が探しやすくなり、譲渡が進みやすくなると感じました。譲渡後のフォロー体制が見える形で示されると、初めて飼う人も安心できると思います。 一方で、野良犬や野良猫が増えることで地域の安全や衛生面に影響が出ることも懸念されます。譲渡促進や地域猫活動を進めつつも、やむを得ない場合には適切なルールのもとで対処を行うなど、総合的な管理が必要だと感じます。
男性	50～59歳	福岡	譲渡された犬猫が適切に飼われているか、数カ月後に確認等を行ってほしい。
女性	50～59歳	福岡	ある日突然ベランダに母猫と子猫3匹が現れたことをきっかけに、福岡市の動物愛護センターに、保護してほしいと連絡したことがある。動物愛護センターの人はこう言った。「引き取ってもいいですが、貰い手が見つからなかったら結局処分されますよ。まずはご自身で数ヶ月保護して、自分で貰い手を探してください。とにかくこっちは保護猫でいっぱいなんですよ。」と。福岡県の取り組みはそんなものかと思った。近所の目があるのと、賃貸住まいであり先住猫がいたため、自宅内で保護もできない。ある程度子猫が大きくなるのを見計らって、自費で母猫と子猫のうち雌猫だけ避妊手術を施した。埼玉県越谷市では犬猫処分の差を達したとのこと。他の市町村から学ぶのいいのでは？
男性	50～59歳	福岡	とにかく猫の糞で困っています。地域には、朝夕に猫に餌をあげている老人を複数見かけます。その猫たちが、我が家の敷地で糞尿をします。この餌をあげている老人たちに一言、言いたいところであるが、このご時世何を言われるかわからないので我慢しています。猫除けスプレーなども購入しています。本当に困っているひとは周囲にたくさんいると思えます。他人が餌をやっている野良猫の糞尿の処理をおこなっている人は、正直、愛護センターが、引き取ってほしいという気持ちになるのが普通だと思います。
男性	60～69歳	福岡	まず地域の状況を、問題点、対策と共に教えていただきたい。
男性	70歳以上	福岡	野良猫などに食事を与えている人がいるので注意喚起が必要と思う。
男性	50～59歳	福岡	地域の方々が協力して猫たちと共生していくための取り組みとして、とても意味のある活動だと感じています。
女性	60～69歳	福岡	住んでいる地区で野良猫、野良犬をみかけたことがないので、福岡でそのような保護活動が具体的にどこでどのような組織が実施しているのか？についても全く情報をもっていないので、それらに対して意見が言える状況には残念ながらありません。
女性	50～59歳	福岡	なし
女性	60～69歳	福岡	ありません
女性	40～49歳	福岡	猫に餌を与えるのであれば責任を持って去勢手術や糞尿の片付けをするべきだと思う。
男性	40～49歳	福岡	マッチング感覚で譲渡したい人と欲しい人が上手く結びつけるスキームができればいいと思います。
男性	40～49歳	福岡	大切な犬猫の命を守ってほしい。重要取り組みだと感じた。
女性	60～69歳	福岡	保護犬猫を譲り受けた家族間の交流があれば(既存ならごめんなさい)
男性	18～19歳	福岡	譲渡をしてくれた方には何らかのプレゼントをする。
女性	40～49歳	筑豊	譲渡会が開かれているのを良く見かけるようになりましたし、テレビでも番組があって認知度は上がっていると思います。しかし、譲渡会での条件が厳しい、譲渡会の団体が態度が良くない、とうよ話も聞いたりします。また、譲渡された動物をネットで販売していることもあるそうです。譲渡に関するルールを明確にすることで、よりスムーズな運営も可能になるのかもしれない。
男性	50～59歳	筑豊	ネコちゃんをもっと大事にして欲しい
女性	60～69歳	筑豊	犬や猫は基本的に嫌い。 ペット好きな人は、みんなが好きだと勘違いして、「可愛いでしょ」とって、感じて犬や猫を近づけてくる。全くの迷惑だ。
女性	30～39歳	筑豊	民間の保護団体のようにSNSを活用することで保護活動への理解が得やすくなると思います。職員による投稿ではなく、SNS対策専門の人材を雇うと良いと思います。
男性	70歳以上	筑豊	近所にて猫に餌やりはよくされていますが放置でたくさんの猫が集まっているのですが我が家の畑や竹林、実家では時折床下にはいり子猫を生んで困っています
女性	30～39歳	筑後	現在、知人から譲り受けた猫を飼っているが、多頭飼いを考えているため、現在も定期的に福岡県動物愛護センターのホームページを閲覧している。 ただ、県の事業として、手続きなどに関して少し腰が重く感じることもある。 動物を責任をもって共に過ごしたいと考えている人は、現代、多くいると思うが、問い合わせなどの窓口をもう少し近い存在として設けてくだされば、譲渡事業もさらに拡大すると感じる。
男性	60～69歳	筑後	正直、地域猫の糞や車のボンネット内への侵入等で困っています。塀を設けたりまでしようとは思いませんが、毎朝糞の片付けをするのも苦痛ではあります。また、それらの地域猫が蚤やダニのいる背の高い草むらの中によく入って行くので怖いです。 犬猫の譲渡に関しては、その取り組みがうまくいくことを心から願っています。
男性	40～49歳	筑後	もっと周知したほうが良いと思いました。
男性	20～29歳	筑後	1匹でも保護され幸せに生きて欲しいと願います。
男性	40～49歳	筑後	命に関わること。譲渡する側、される側の責任を明確にする。違反時の罰則も。
女性	40～49歳	筑後	譲渡するだけでなく、どの後のフォローも必要だと思う。しつけや去勢、予防接種などの情報提供や困った時の相談窓口など。
男性	70歳以上	筑後	無責任に餌をやる人を処罰する条例を作してほしい。

性別	年代	地区	意見
女性	60～69歳	筑後	昭和のころ、家の近所にはいわゆる「野良犬」がいた。今はその姿をほぼ見ない。しかし、現在も「野良猫」の姿はよく目にする。だからこそ、何らかの取り組みは必要であり、地域猫活動をさらに広報して、各自が自分にできることを考えられることを期待する。
男性	50～59歳	筑後	小さくても大切な命を粗末にしない取り組みは大切だと思う。もっと推進してもらいたい。
女性	60～69歳	筑後	県内の地域猫活動や譲渡の取組を広報誌やテレビなどで紹介してほしいです。また、地域猫の不妊・去勢手術費用に対する助成金を増やしてほしいと思います。
男性	70歳以上	筑後	新しい飼い主がきちんと責任を持って飼育できる環境なのかも大事なので、きちんと確認して譲渡してほしいです。